投手の投球回数制限規定について

本大会では投手の回数制限を適用することとする。
※全日本軟式野球連盟の規定に準ずる。

○ 原則として１人の投手が１日に投げられる回数は７回迄である。

○ ただし、特別延長戦の直前のイニングを投げ切った投手に限り、
１日最大９イニングまで投げることができる。
【学童野球の延長戦は最多２回（９イニング）である】

○ 投手が１死も取れず降板した場合１回の投球がカウントされる。
（極端な例として１球投じた時点で１回としてカウントされる）

○ 投球回数のカウント例

例１） Ａ投手が７回終了まで登板、特別延長戦２回は登板可能。

試合	投手	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	A	○	○	○	○	○	○	○	●	●

例２） Ａ投手が４回。Ｂ投手が５回から登板、特別延長戦Ａ投手は不可
Ｂ投手またはＣ投手が２回可能。

試合	投手	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	A	○	○	○	○				×	×
	B					○	○	○	●	●
	C								●	●

例３） １試合目Ａ投手が４回。 ２試合目Ａ投手５回から登板。
Ａ投手は特別延長戦２回可能。Ｂ投手は不可。

試合	投手	1	2	3	4	5	6	7	8	9
一試合目	A	○	○	○	○				－	－
	B					○	○	○	－	－

試合	投手	1	2	3	4	5	6	7	8	9
二試合目	A					○	○	○	●	●
	B	○	○	○	○				×	×

例４） １試合目Ａ投手５回から特別延長１回、２試合目４回から登板、
特別延長は８回のみで９回は不可。（９回は別の投手へ交代）

試合	投手	1	2	3	4	5	6	7	8	9
一試合目	A					○	○	○	●	－
	B	○	○	○	○				×	－

試合	投手	1	2	3	4	5	6	7	8	9
二試合目	A				○	○	○	○	●	×
	B	○	○	○					×	×
	C									●

例５） １試合目Ａ投手が７回まで登板、Ｂ投手が特別延長戦８・９回を登板。
２試合目Ｂ投手は先発７回まで登板可能。
もし特別延長戦になった場合はＡ・Ｂ共に投球不可のため別の投手Ｃへ交代。

試合	投手	1	2	3	4	5	6	7	8	9
一試合目	A	○	○	○	○	○	○	○		
	B								●	●

試合	投手	1	2	3	4	5	6	7	8	9
二試合目	A								×	×
	B	○	○	○	○	○	○	○	×	×
	C								●	●